

EdTech導入補助金事務局御中

2020年度EdTech導入補助金事業成果レポート

ライonz株式会社

- 会社情報

- EDT番号： EDT00082
- 事業者名：ライズ株式会社
- 住所：〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-20-15 高田馬場アクセス4F
- 代表者名：山口洋

- 事業内容

- 教育用ソフトウェアコンテンツの開発提供しております。主力製品「ライズeライブラリアドバンス」は全国の公立小中学校6,000校以上に導入。その他、ICT支援員サービス、大学リメディアル教育向けサービスも提供しております。

- ツール製品名：ラインズeライブラリアドバンス

ラインズeライブラリアドバンスは、約60,000問のドリル教材を軸にした学習支援サービスです。先生の授業に沿った活用、児童生徒の主体的学び、学校と家庭を連携させた学びの場をご提供致します。

- 「授業に沿った利用」

- 先生は、授業の切れ目や、単元の終わりに確認テストの実施し、テストの結果から児童生徒各自の理解状況にあった教材を自動個別に構成し配信することができます。また、都度、児童生徒の学習状況をチェックすることができます。

- 「主体的な学び」

- 児童生徒は、先生から指示された課題学習や、授業に沿った予習復習学習を通して蓄積された学習ログからその理解度に応じて、苦手、得意、教科を越えたトライ学習など、レコメンドされた教材に取り組みつつ、主体的に学ぶことができます。

- 「学校と家庭が連携した学び」

- 先生が指示した学習は、学校でも家庭でも、一斉に取り組むことができます。また、指示された、あるいは、任意に選んだ教材をPCにダウンロードして、オフラインでどこでも学習できます。

※ダウンロード学習機能対応OS: Windows版 (64bit版)、iPad版 (iPadOS13以上) ChromeBook版 (2021年5月リリース予定)

- 対象学年教科：小学校1年から中学校3年までの、小学：国語・算数・英語・理科・社会、中学：国語・数学・英語・理科・社会・保健・体育・美術・技術・家庭・音楽。

八戸市小学校の課題とラインズeライブラリアドバンス

• 学びの習慣化と学力向上

- 『授業の一区切り、単元の区切りで、先生が「確認テスト」（単元テスト）指示をする。先生はその成績結果確認しつつ、学習ログにもとづいて自動個別に構成された課題を出題をする』というシステムティックなチェック&フォローの流れのサイクルから、児童生徒の一定の学びの習慣化を検証します。
- 先生から指示される課題指示学習と日頃の授業に沿った学習ログから、児童一人ひとりへの「弱点の強化」「得意の伸長」「単元教科を越えた学びへの誘導」に繋がる教材の個別最適なレコメンドをきっかけとする主体的学びの傾向を検証します。
- 上記学びの習慣化により、それに伴う学力の推移をトレースし、その向上傾向の検証します。

• 学力差、学習の機会差の解消・・・学びの保障

- グループ機能で、共通の傾向をもった児童生徒の少人数単位の課題指示指導（特に家庭での課題指示）を通して、学力差、学習の機会差（不登校、休校、分散登校等による）の解消傾向を、学力面と学習日数時間面で検証します。

• 教員業務の改善

- 「課題（宿題）」出題、「確認テスト」指示機能を利用することで、採点、結果解析等の従来の紙テストの一連の採点等の業務負荷軽減を検証します。
- 上記検証を通して、年次で運用面及び製品システム面の見直しをし、改善を進めます。

学びの保障 - 児童生徒の主体的学び - 学びの習慣化

ラインズeライブラリアドバンスを使ったテスト指示と同傾向グループ毎への課題指示

授業



授業の区切りに確認テスト



確認テスト実施



自動採点



児童生徒ひとり一人の理解状況
に応じた自動個別課題出題



課題の個別最適対応

主体的学び



苦手、得意、教科を越えた学びのレコメンド学習。そして、授業に沿った予習復習学習



学びの習慣化

家庭学習



タブレット持ち帰り家庭学習
(オフライン対応)



自宅の環境で家庭学習



学びの保障



課題を個人、グループ毎に出題



朝の一斉学習



少人数授業

・ 成果レポート

- ・ 事業実施自治体は青森県八戸市で、対象校は小学校全42校です。
- ・ 新型コロナ禍のただ中、事業対象校数の規模の点からも、全校一律に事業計画通りの展開をするには限界がありました。
- ・ したがって、2021/1/31時点において、2学期中の利活用解析データを十分回収することは困難でしたが、積極的に活用を進めた学校からは、児童たちの主体的な取り組み姿勢の報告もあり、踏み込んだ解析は3学期以降となります。
- ・ さて、新型コロナ禍による休校、分散登校では、家庭学習の役割りが大きく、事業計画のテーマのひとつ「学力差、学習の機会差の解消」において、弊社ツールをいかしたタブレットPC持ち帰り家庭学習の効果を期待するところでした。
- ・ しかし、弊社ツールでは、先生の指示した課題を児童生徒が家庭で学習し、都度、先生が結果確認、指示することが可能ですが、家庭によってインターネット接続環境がないケースもあり、その効果を現時点では、総合的に検証することは困難となりました。
- ・ 来年度1学期中に実装予定のインターネット接続環境のないオフラインでも学習できる「ダウンロード学習」機能(Chrome Book版)を通して、来期、総合的な検証を実施する予定です。
- ・ なお、当自治体では、GIGAスクール構想のもと昨夏以降の一人一台のChrome Book整備に伴うG-Suite上のSingle Sign On対応によって、学習用ソフトウェアの活用利便性が向上致しました。